

第1 災害の実態

1 火災概況

平成25年中の火災は、総出火件数893件、損害額2,076,331千円、死者34人、負傷者121人、焼損棟数669棟、り災世帯数398世帯、建物焼損床面積28,551平方メートル、建物焼損表面積1,171平方メートル、林野焼損面積845aとなっている。

(1) 出火件数

総出火件数は893件で前年に比べ48件(5.7%)増加している。これは1日に約2.44件の割合で火災が発生していることになる。

ア 火災種別ごとの出火件数

建物火災が455件で全体の51.0%と最も多く、次に、車両火災(93件)、林野火災(58件)と続いている。

建物火災を種別ごとにみると、一般住宅火災が194件(42.6%)と最も多く、次いで共同住宅火災となっており、住宅からの出火が半数以上を占める。(表1、図1、図2)

表1 火災種別出火件数

区分 種別	平成25年		平成24年		増減 (A-B)
	件数(A)	全体比(%)	件数(A)	全体比(%)	
建物	455	51.0	501	59.3	△46
林野	58	6.5	18	2.1	40
車両	93	10.4	80	9.5	13
船舶	3	0.3	3	0.4	0
航空機	0	0.0	0	0.0	0
その他	284	31.8	243	28.8	41
合計	893	100.0	845	100.0	48

図1 全火災種別内訳

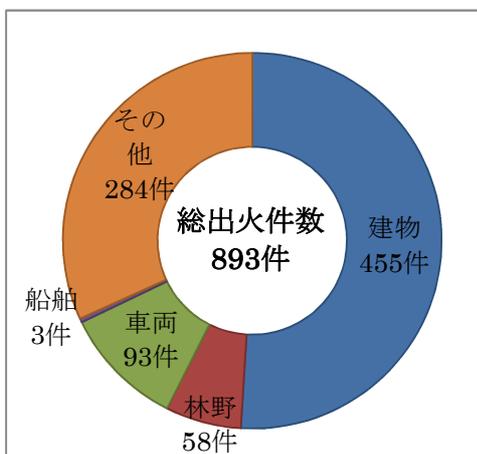
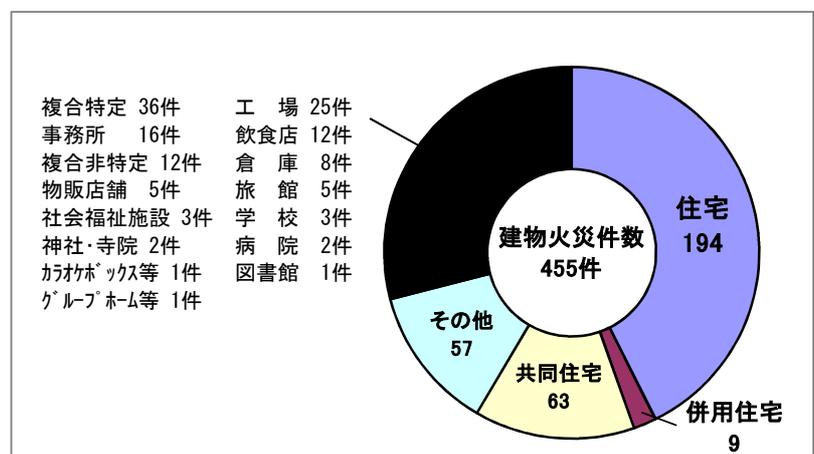


図2 建物火災用途別内訳



イ 月・四季別出火件数

月別に見ると3月の出火件数が211件（全体比23.6%）で最も多い。（図3）

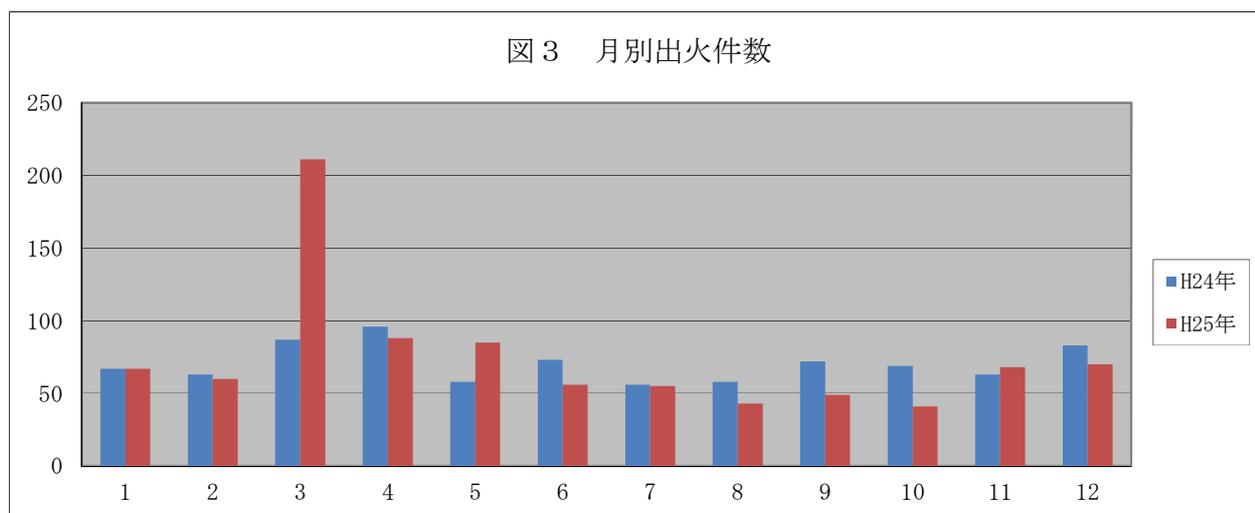


表2 四季別出火件数

	平成25年		平成24年	
	件数	全体比	件数	全体比
春季 (3~5月)	384	43.0	241	28.5
夏季 (6~8月)	154	17.2	187	22.1
秋季 (9~11月)	158	17.7	204	24.1
冬季 (1~2月及び12月)	197	22.1	213	25.2
合計	893	100.0	845	100.0

(2) 消防機関の火災覚知方法

消防機関の火災覚知方法は、携帯電話からが282件（33.4%）で最も多い。（表3）

表3 火災の覚知方法

(平成25年1月1日から12月31日まで)

	専用電話	加入電話	警察電話	駆付け通報	事後聞知	その他	合計
件数	586	90	30	3	164	20	893
全体比	65.6%	10.1%	3.4%	0.3%	18.4%	2.2%	100.0%